

支倉常長フェロー報告書

提出日 2009年 10月 15日



申請者	氏名	相馬 友和
	所属・職	博士課程 2年
出張期間	2009年 9月 22日 ~ 9月 28日	
渡航先	米国	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Luminal Alkalinization attenuates O ₂ · ⁻ production induced by fatty acid-bound albumin in renal proximal tubular cells	
得られた成果など	<p>今回、私は支倉常長フェローシップのご援助を頂き、2009年9月23日から9月26日に米国シカゴにて開催された Council for High Blood Pressure Research 2009 に参加し、現在私たちが取り組んでいる研究テーマである「尿細管の生理的環境の及ぼす腎酸化ストレス応答の影響について」（演題名：Luminal Alkalinization attenuates O₂·⁻ production induced by fatty acid-bound albumin in renal proximal tubular cells）のポスター発表を行なう機会を得ることができた。本学会では高血圧を基盤として心疾患・腎疾患をテーマにした基礎研究が数多く発表され、知識を広げることができ、さらには腎生理学・酸化ストレス応答の研究を行なっている多くの研究者と議論することができた。</p> <p>これらの経験が今後の本研究を推進させる上で非常に良い機会となったと考えており、ご援助いただくことができたことは非常に幸運で関係してくださった方々に深く感謝の意をこの場を借りてお伝えしたいと思う。</p>	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

